

## トランプが、モスクワの V-Day パレードに参加するかもしれないと示唆

主流メディアは激怒し、歴史とロシアについて、またしても無知を暴露

【訳者注】これは、トランプと、プーチン（ロシア）と、トランプとプーチンを滅ぼして悪の勢力につこうとする者たちの三角関係が、またしても、馬鹿げた方向へ捻じ曲げられた話である。先日の SOTN の記事にあったように、悪人どもは自分の悪を暴かれないように、ありもしない罪状をでっちあげねばならない。それがトランプの「ロシア疑惑」だが、これはトランプを陥れるだけでなく、プーチンを当然のように仇敵にしなければならない。しかしプーチンは常にアメリカを「パートナー」と呼び、敵だと言ったことはない。そこでプーチンが、先のナチスドイツに対する戦勝記念の恒例の祝賀会にトランプ招待すると、彼はこれを、戦争を終わらせるための式典と正しく理解して、ありがたく引き受けた。しかし、ロシアが敵でなければならない、New World Order 陰謀団の手下どもは、これを、アメリカに武力を見せつける敵意ある式典と解釈して、激怒したという話である。

そもそも、冷静に見てわからないことは、トランプとプーチンが癒着して、なぜ悪いかということである。平和を願う二人が癒着（協力）してこそ、この世界はよくなるはずである。これに激怒するということは、世界が平和になってはならないということである。非常にわかり易く、したがって正気を疑わせる世界観が、世界を支配している。

RT (Russia Today)

November 8, 2019



ロシア大統領ウラジミール・プーチン、2019 V-Day にて（左）、米大統領ドナルド・トランプ（右）

米大統領ドナルド・トランプは、第2次大戦の戦勝を祝うロシアの記念行事に、喜んで参加したいと言って、またしても、彼を批判する者たちを刺激してみせた。ところでこの記念祝典のことを、ある記者をはじめ、ほとんどのメディアは、長いこと絶えている“メーデー”パレードと勘違いしていた。

「その招待には感謝する。できたら行きたいと思っている」と、トランプは、金曜日、来年のモスクワでの“メーデー”パレードに参加する気はあるかという、ある記者の質問に答えて言った。「それは考えている。」

トランプは、それは、2020年米大統領選挙の、キャンペーン・シーズンの最中になるから、自分は忙しくなるかもしれない、とは言った。ロシアへ行くかもしれないという、発言だけでも、大統領を批判する者たちを、憤慨させるのに十分である。しかし“メーデー”と言ったことに、彼らはなおさら激高して叫んだ。

「すべての道はプーチンに通ず」と、#Resistance ツイッターの、あらゆる反動的な「ひどい話」が、米下院議長ナンシー・ペロシの言葉を模倣して叫んだ。これを指導するのはCNNのアンカーJim Sciuttoで、彼はこのパレードを「ロシアの軍事力を誇ってみせるもので、プーチンはこれを、世界中の米国家安全保障の権益を、破壊するために使っている」と言っている。……

こうした敵対的な解釈のすべてに共通する困ったことは、「メーデー軍事パレード」などというものは存在せず、50年以上も前から絶えていることである。冷戦期間中、ソビエト連邦は「赤の広場」で、国際労働者の日のために、戦車とミサイルを展開して見せた。しかし、そのような軍事的見世物は、1968年以来、終わっている。

トランプ自身の金曜日の反応——「これは非常に大きな祝日だ、戦争の終わりを祝福するものだ」——は、どんなイベントに自分が招かれたのかを、彼は完全に知っていることを示している。それは、第2次大戦で、ナチスドイツに連合国が勝利した、75周年記念日であり、それをロシアが2020年5月9日に祝うものである。

RT.com 参考資料：「ロシア・ゲイト陰謀団の最も暗い日：トランプは2020勝利記念日にモスクワへ来るかもしれない」

<https://www.rt.com/news/462922-trump-victory-day-visit/>

Sciuttoは、本当のV-Dayイベントを、あの長く廃止されたままの習慣と混同する、唯一の人ではなかった。ロイターの国家安保特派員Johnathan Landayも、これを、「軍隊の日」だとし、「去年のYARS ICBMのような、アメリカを攻撃する武器を見せびらかすための

ものだ」と言った。この発言が、Business Insider の John Haltiwanger に、事実を修正する気にならせた。

このワシントン・ポストの献身的な、トランプ憎しの事実チェッカーでさえ、この事実を指摘して、大統領は「間違っただけによって、戸惑わされたように思える」と言った。

ロシア共産党員が、今でも 5 月 1 日にはラリーを行うものの、モスクワでこの日に軍事パレードを行うことは、半世紀以上途絶えている。赤の広場にあるウラジミール・レーニン廟が、勝利の日のパレードの拠り所に使われることは、決してない。そして、クレムリンの壁の下には、ソビエトの指導者の大きな共同墓地はあるものの、V-Day のために彼らに「敬礼」を捧げることはない。

——以上